

本号は、「後期活動のあらまし」です。

令和2年3月3日

主な内容は、次のとおりです。詳細は、会報誌をご覧ください。

1. 新年の集い

総勢約 90 名の方々が出席されました。

各来賓の方々からは、水産業の発展について決意が述べられました。

2. 北方四島周辺海域の操業に係る日ロ漁業交渉

交渉は、厳しい応酬の連続でしたが、2019 年と同内容でまとまりました。



3. 日ロ地先沖合漁業に係る取り組み

操業条件整備にあたっては、出漁漁船の経営維持が図られるよう関係者へ強く要請しました。結果、一部の協力費は「0円」となる等、漁業経営に大きく貢献するものと考えられます。

4. 魚食普及・食育 PR 活動

18カ所（予定含む）で研修会、料理教室を開催しました。内陸部での開催、多獲性魚種の選定など、新たな動きが出てきました。



5. 漁師になりたい人々と浜をつなぐ活動

国、道の長期研修事業や道委託の短期漁業体験事業を実施しました。研修生への面談を実施し、関係機関へ現場の取組状況を伝えることが出来ました。

